告 示

埼玉県告示第二百四十六号

に供する 域の生活環境に及ぼす で、 の二の六第一項 廃棄物の 当該申請書及 同条第二項にお 処理及び清掃 の規定により産業廃棄物 び 同 V 影響に て 条第三項の 準用す に関する法 9 Ź 1 司法第十 T 当該産業廃 律 \mathcal{O} 調査 (昭 処 理 五 の結果を記載 和 条第四 棄物 施設 兀 十五 処理施 \mathcal{O} 年法 項の 変更許可申請 設 規 律第百三十 定 を設置する た書類を次 に より 書が提出さ 七号) 次 ことが \mathcal{O} \mathcal{O} とお と 第 お 十五 周 ŋ れ り 辺地 告示 た 縦 \mathcal{O} 条

に 生活環境の なお、 当 該 保 産 全上 業廃棄物 $\overline{\mathcal{O}}$ 見 地 処 理施 カコ 6 \mathcal{O} 設 意見書を \mathcal{O} 設 置 に 提出することが 関 L 利 害関係 を有 できる す る 者 は 埼 玉 県 知

半成三十年三月二十日

埼玉県知事 上 田 清 司

申請者 \mathcal{O} 氏 名又は 名 称及 び 住 所 並 び に 法 人にあ 0 て は、 その 代 表者 \mathcal{O} 氏

株式会社タカヤマ

所沢市大字南永井三七番地九号

代表取締役 齊藤 古信

二 産業廃棄物処理施設の設置の場所

本庄 市 児玉 町 共栄字南共 和七 一〇番六、 六三一番一、 六三一番二

三 産業廃棄物処理施設の種類

条第三号 廃棄物 \mathcal{O} 処理及び に 規 定する 清 汚泥 掃 に 関す (ポ リ塩化 る 法 律施行 ピ フ 令 工 = (昭 ル 汚染 和 匹 物 +六年政令第三百号) 及 び ポ IJ 塩化 F, フ エ 第 七

処理物であるものを除く。)の焼却施設

兀 産業廃 棄物 処 理 施 設 に お V 7 処 理 す Ź 産 業廃 棄 物 \mathcal{O} 種 類

汚泥、動植物性残さ

五 申請年月日

平成二十九年十月二十六日

六 縦覧場所及び縦覧時間

| 午前九時から午後四時三十分まで | 上里町くらし安全課 |
|-----------------|------------------|
| 午前九時から午後四時三十分まで | 神川町防災環境課 |
| 午前九時から午後四時三十分まで | 本庄市環境産業課(児玉総合支所) |
| 午前九時から午後四時三十分まで | 本庄市環境推進課(本庄市役所) |
| 午前九時から午後四時三十分まで | 埼玉県北部環境管理事務所 |
| 午前九時から午後四時三十分まで | 埼玉県環境部産業廃棄物指導課 |
| 縦覧時間 | 縦覧場所 |

七 縦覧期間

除く。 び国民の祝日に関する法律 平成三十年三月二十二日から平成三十年四月二十三日まで(日曜日、 (昭和二十三年法律第百七十八号)に規定する休日を 土 曜日及

八 意見書の記載事項

1 意見書を提出する者の氏名又は名称及び住所並 び に法 人に あ 0 は、 その代

表者の氏名

ロ 意見書を提出する理由

ハ 生活環境の保全上の見地からの意見

九 意見書の提出期間

平成三十年三月二十二日から平成三十年五月七日まで

T 意見書の提出方法

イ 日本語によること。

ロ 持参又は郵送(平成三十年五月七日消印有効)

十一 意見書の提出先

埼玉県北部環境管理事務所 (郵便番号三六○─○○三一 熊谷市末広三丁目

九番一号)